

令和4年度  
小規模多機能型居宅介護サービス評価

～事業所自己評価～

社会福祉法人 高田福祉会  
ケアホーム 笛吹の里

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 31日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 全職員の改善計画を基に管理者・ケアマネ・看護・リーダーで検討

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	3		9

前回の改善計画	
①事前の聞き取りにはケアマネ・看護・介護で参加し、本人家族の不安・ニーズを把握、共有する	
②緊急利用を除き、利用開始前のカンファレンスは事前に実施日を決め、掲示板で周知し、必要に応じて複数回行うことで情報を全体で共有する。また、基本情報だけでなく、ケアプランの説明も行い、援助の方向性を共有する。	
③利用開始後、1ヶ月を目安にケアマネ・看護・担当介護にてカンファレンスを行い援助内容を評価する	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①年度当初は介護も参加できていたが、職員体制により介護の参加は難しくなり、申し送りにて把握。	
②業務都合により、全体でのミーティング開催が難しいため、職員個々に情報やニーズを伝え、情報共有している。	
③出来ている場合と出来ていない場合がある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	3		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		9			9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	7	1		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②事前面談で本人家族の意向を確認し、その情報を職員間で共有している。また、利用開始後、2週間位までは援助内容が適切か評価し、調整している	
①全体ミーティングの時間確保が難しいため、職員個々に情報やニーズを伝え、情報共有している。	
②④利用初期は施設、自宅での様子、対応について細かなことでも家族と情報共有し、信頼関係を構築している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②利用初期の細かな対応の変更が周知できていない時がある。情報が多く理解しきれない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
前回の改善計画を継続	
①利用前に本人の顔写真や部屋の写真 (本人家族了承の場合) など生体動作以外の面の情報も収集し、初期支援に活かす	
②利用前はフェイスシート、利用後の対応変更はケアカルテ (介護記録) にて周知。 確定した支援内容は小規模多機能介護計画に記載	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 31日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 全職員の改善計画を基に管理者・ケアマネ・看護・リーダーで検討

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	2		9

前回の改善計画
①半年毎に小規模多機能介護計画の評価を担当介護が行う ②1年に1回または状態変化時に本人・家族・ケアマネ・看護・担当介護にてカンファレンスを行う
前回の改善計画に対する取組み結果
①実施できている ②事業所内でケアマネ・看護・担当介護にてカンファレンスを行い、本人家族とはケアマネが行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		9			9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		9			9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	4		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②小規模多機能介護計画をファイルにまとめたことで見返すことが増え、把握しやすくなった。 ③カンファレンスを定期的に行えていることで、介護計画の評価・修正を行うと共に本人・介護者の思いも共有でき、日々のかかわりに活かしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③業務都合・付き添いが必要な方への対応等により、当面の目標に沿った日々のかかわりが不十分。 ③本人の希望よりも家族の希望を優先してしまい、本人の当面の目標に近づけていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
前回の改善計画を継続。 自宅へ職員が3人行くのは難しいので、家族に施設へ来てもらう、ZOOMを使用するなど、本人家族・多職種でのカンファレンスを行っていく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 3 1日

3. 日常生活の支援

メンバー 全職員の改善計画を基に管理者・ケアマネ・看護・リーダーで検討

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	4	2		9

前回の改善計画	①全利用者の小規模多機能介護計画をファイルにまとめ、いつでも確認できるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	①常時確認できるようになったことで個々の目標・意向・支援内容を把握しやすくなった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5	3	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	8			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6	3		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	8			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①介護計画を常時確認できるようになったことで「以前の暮らし方」も把握できるようになった。 ④記録の電子化により、本人の気持ちや体調の変化についてはしっかりと記録されており、情報の共有が図れている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②認知症が進行している場合、本人の訴えや対応に振り回されて、対応できないことがある。 ④体調変化後の対応が決まらず、職員それぞれの対応となってしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
④必要時にケアマネ・看護・担当介護でミーティングを実施し、対応を決め全体に周知する。一時的な対応を除き、支援内容を変更した場合は適宜小規模多機能介護計画を修正する。 ミーティングの内容は介護記録に「M実施」と入力する ②利用者が通いサービスの中で役割のある生活を送ることで認知症の進行防止と自立支援に繋がります	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 31日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 全職員の改善計画を基に管理者・ケアマネ・看護・リーダーで検討

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?			4	5	9

前回の改善計画	①エコマップがその方の人間関係・地域資源を把握するのに適しているため、ケアマネを中心にエコマップを作成（試しに一人作成してみる）
前回の改善計画に対する取組み結果	①業務多忙にて作成できず

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	4	2	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	2	3	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	5	2	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	5	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②同地域にある配食を活用したり、地域の運動会などにも参加している ③小規模多機能介護計画である程度、理解できている ④コロナ禍での職員不足をきっかけに事業所以外で対応可能な地域資源を活用できるようになった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①人間関係を把握できるものがないので理解できない。 ②介護量・サービス量が増える事で家族や地域との関りがうすくなっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①エコマップのテンプレートを作成し、4月中に特定の人物を挙げ、ケアマネ・担当介護が中心となり、エコマップを作成する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 31日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 全職員の改善計画を基に管理者・ケアマネ・看護・リーダーで検討

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?			8	1	9

前回の改善計画	
①事業所が提供できる通い・訪問サービスの一覧を作成し、できることできないことを明確にすることでなんでも屋からの脱却を図り、地域資源を活用しながら自立支援に繋げていく ②高齢者が必要としている地域資源（上越市内）をリスト化し、利用者への提案・活用しやすくする	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①一覧は未作成だが、本人のできる力や地域資源を活用し、なんでも屋からは少しずつ脱却できた ②未作成だが、職員全員で少しずつ作成中である	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	4	3	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	7	1		9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		7	2		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		9			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①配食サービス・生協・薬の配達・便利屋等の地域資源を利用し、事業所の負担を軽減できている ②本人・介護者のニーズに合わせて柔軟なサービス提供ができています。小規模多機能にそぐわない長期泊りがいなくなり、泊り利用0人の日もある。 ③利用者の変化が見られた時はスタッフ間で共有し、対応している。スタッフ間のコミュニケーションはしっかり図れている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③業務都合により、日々の全体ミーティングは開催できていない（但し、情報の共有ができていないわけではない）	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
前回の改善計画を継続 ③現状の多職種での個別ミーティングを必要時に行い、記録・申し送りにて全体へ周知を基準とする	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 31日

6. 連携・協働

メンバー 全職員の改善計画を基に管理者・ケアマネ・看護・リーダーで検討

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			5	4	9

前回の改善計画
①利用者個々の地域との繋がりを継続していけるよう感染状況を見ながらサロンやイベント、ボランティア活動に参加していく ②新しく配置した広報担当が施設の地域交流も担当し、地域交流を進めていく ③利用者の手作り品を寄贈・フリーマーケット等で販売する
前回の改善計画に対する取組み結果
①コロナ禍で参加が難しかった ②コロナ禍で地域交流が難しかったが、地域の運動会には人形作製の依頼を受け、作製及び参加により交流が図れた。 ③コロナ禍でフリーマーケットへの参加は難しかった。小学校へ雑巾を作り、寄贈した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		1	1	7	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?				9	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?			2	7	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				9	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①初回利用前や退院前にケアマネ・看護が参加している (職員体制次第で介護も参加としている) ③地区運動会に参加した。現状、コロナ禍で地域の活動・イベントへの参加は難しい。また、イベントも減っている ④屋外での花の管理等でボランティアの方が時々訪れている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④コロナ禍で外部の方が施設に入りにくい状況が続いている	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
前回の改善計画を継続。 ③④施設でできる地域貢献活動を進めていく。屋外の活動については協力可能な家族に働きかけを行う ④子供が施設に入りにくい状況は続くと思われるので小学校や保育園で活用できそうな物を作成。 ③地域の夏まつりに出店し、手作りの品や収穫した野菜などを売る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 31日

7. 運営

メンバー 全職員の改善計画を基に管理者・ケアマネ・看護・リーダーで検討

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	3	2	9

前回の改善計画
①月1回のケアホーム会議では運営・業務改善についてのみ検討する。意見のある職員は事前にレジュメに記載してもらい、会議の1週間前に配付し、個人で検討後に会議を行う
②利用者が地域の資源として活躍できるように運営推進会議や地域の会議を通じて地域のニーズを把握し、事業所及び利用者個人としてできることを考え取り組んでいく
前回の改善計画に対する取組み結果
①会議1週間前から報告・検討事項を入力してもらい、会議の2～3日前に配布し、事前に目を通してから会議を行っている。
②直接依頼があれば対応しやすいが会議等を通じて地域のニーズの把握は難しい

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		1	6	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	2	3	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?			2	7	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?			2	7	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②利用者・家族からの意見は早急に検討し、運営に活かしている	
④地区団体・町内会長等で構成する地区運動会の会議で笛吹の里が協力してくれるのでは?という意見があり、レースで使用する人形を作製した。雑巾を作り、小学校に寄付した	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②利用者からの苦情は人間関係のことがほとんどで改善が難しい。	
③運営推進会議以外で地域の方との接点がほとんどないため、意見や苦情があるのか分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
③④地域のサロン等に利用者と参加し、地域の方と関わる機会を持ち、情報を得る(コロナ次第)	
③施設の公式LINEを開設し、広報誌やホームページを通じて周知する。地域の方からの意見や問い合わせ、情報発信等に利用	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 31日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 全職員の改善計画を基に管理者・ケアマネ・看護・リーダーで検討

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	5		9

前回の改善計画
①内部研修日は全員出勤とし、参加率を上げる。また、当日の夕方からケアホーム会議を行う ②新潟県小規模多機能協議会に入会し、外部研修への参加、他事業所との交流の機会を持つ ③職員個々の研修計画を基に外部研修を勧め、スキルアップを図る ④事故報告の対策が適切な対策か1・3・6ヶ月を目安に評価を行う。 リスク委員は事前に準備を行い、ケアホーム会議にて評価し、事故報告書の裏面に記載する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①計画通り実施しており、イレギュラーを除き、内部研修の参加率は上がった ②新潟県小規模多機能協議会に入会の連絡をしたが、返答なく未入会 ③上半期は職員体制が厳しく、外部研修への参加は困難であった。ケアマネはオンラインにて研修に参加できている ④計画通りに実施。適切な対策であったか評価を行い、その後の支援に活かしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		3	5	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	1	7	9
③	地域連絡会に参加していますか				9	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①内部研修日は基本全員出勤としたため、内部研修の参加人数が増えた ④発生した事故・ヒヤリから個人だけでなく全体のケアの見直しを行っている ④事故の対応策を定期的に評価できている ④事故防止だけでなく自立支援も考えた支援により、事故件数は半減した	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①職員体制及び業務都合により、外部研修への参加がほとんどできていない。 ③上越市内で地域連絡会が開催されていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
前回の改善計画を継続 ④併設事業所で発生した事故で全体への周知が必要な場合はチーフ・ケアマネから自事業所に周知	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 31日

9. 人権・プライバシー

メンバー 全職員の改善計画を基に管理者・ケアマネ・看護・リーダーで検討

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7	2		9

前回の改善計画
①半年毎に接遇チェックシートにて自身の接遇を振り返り、必要に応じて上司と面談。 ②ケアホーム会議にて接遇の改善目標を1つ挙げ、実行し、1ヶ月後に評価する。毎月繰り返し行う。 リーダー+職員1名を担当者とする
前回の改善計画に対する取組み結果
①接遇チェックシートで個々に振り返りを実施。振り返り結果を活かしきれていない ②接遇・不適切ケアを中心に毎月目標を挙げ実行し、会議にて評価している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	2	7			9
②	虐待は行われていない	4	5			9
③	プライバシーが守られている	1	6	2		9
④	必要な方に成年後見制度を活用している		7	1	1	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている		7	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②自分がされて嫌なことはしないという意識が浸透しており、身体拘束・虐待は行われていない ②不適切ケアの検討・接遇チェックシート等により虐待の芽を摘めるよう努めている ③プライバシーを守るための環境の見直しを行っている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②③不適切ケアやプライバシーへの配慮は時間の経過と共に意識が薄れてしまう ③職員間で利用者のことについて話をする際、つい大きな声で話してしまう時があり、プライバシーが守られていないと感じる。また、職員間での指摘もできない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
前回の改善計画を継続。接遇チェックシートも活かしながら具体的な目標を設定する	